



世界を舞台に
サイエンス
してみませんか？

国際共同研究 参加校募集

- ◆ 社会は理系グローバル人材を求めています。
- ◆ 海外の高校生と一緒に共同で課題研究を行う経験ができます。
- ◆ 立命館高校のSSH事業で実践してきたノウハウでサポートします。
- ◆ 企画に参加する多くの海外生徒とも交流の機会があります。
- ◆ 将来の大きな夢をつかみましょう！

※ 詳しくは裏面をご覧ください。

各位

立命館高等学校 校長 東谷保裕

「国際共同研究」参加校の募集

日頃より本校教育に格別のご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

本校におきまして平成14年度から継続して指定をいただいておりますスーパーサイエンスハイスクールについて、本年度、新たに第2期先導的改革型の指定をいただくことになりました。今期におきましても、「国際共同研究の取組の日本全国への普及」を掲げています。国際共同研究が高校生に大きな成長を与える取組であることを確信し、その普及に尽力いたしたいと考えております。

つきましては、取組趣旨に賛同いただき、ご参加いただける学校様を下記の通り募集いたします。

記

【取組趣旨】 理系グローバル人材育成のための研究開発として、高校生による国際共同研究に取り組み、その過程において参加生徒の成長を育むことを目指し、同時にその成果と課題を確認し、さらなる普及や取組内容の向上を目指す。

【募集人数】 各校より高校生2~3名（ご担当いただく先生を1名登録いただきます。）

【実施形態】 すべてオンラインでの取組として実施します。

【応募期限】 2023年5月12日(金)

<https://forms.gle/fj65no4hXtkNzPE28>

【応募方法】 右のQRコード、またはURLから登録フォームに必要事項を記載して送信してください。

※ 参加校数を早めに把握したいと考えておりますので、参加を検討いただける学校様は、下記廣松まで先にメールにてご一報いただければとお願いいたします。

※ 参加希望校が多過ぎる場合、お受けできないことがあり得ますことご了解ください。

- 【遵守事項】
- ・取組趣旨を理解し、意欲的に取り組むこと。
 - ・国際交流を楽しみ、相手校との相互理解に努めること。
 - ・相手校となる海外校があるので、途中の自己都合での辞退がないこと。
 - ・1月のInternational Collaborative Research Fairにおいて英語での共同発表をすること。
 - ・研究開発としての取組なので、学習会の参加や各種調査に協力すること。

<取組の流れ(予定)>

登録フォームから参加登録。その際に、希望研究分野を届けてもらいます。	
5月19日(金) 17:00~18:00	日本校生徒対象 第1回学習会 (顔合わせと1年間の流れについて説明)
5月下旬	立命館高校において海外校を探してマッチングを行います。 マッチングについては、立命館に一任ください。研究分野を参考にして行います。
6月2日(金) 17:00~18:30	第1回全体ミーティング(日本校、海外校も含む) (全体ミーティング、グループ交流、共同研究校と顔合わせ)
6月上中旬	グループ毎にミーティングを開始し、テーマ決めの議論を行います。 ※ 初回ミーティングのみ、立命館高校教員が司会をさせていただきます。
6月~7月	研究テーマの設定と研究計画の策定。その後、実験、調査活動の開始
7月21日(金) 16:00~17:00	日本校教員によるミーティング (これ以降の計画についての意見交換)
8月~9月	実験、調査活動
9月8日(金) 17:00~18:00	日本校生徒対象 第2回学習会 (研究テーマとその後の計画について報告してもらいます)
10月~1月	実験、調査活動、研究結果の吟味、発表準備と発表練習
10月13日(金) 17:00~18:00	第2回全体ミーティング (中間報告と交流企画)
12月22日(金) 17:00~18:00	第3回全体ミーティング (ICRFについての連絡と交流企画)
1月27日(土) 12:00~17:00	International Collaborative Research Fair (国際共同研究合同発表会)
その後、事後フィードバック等にご協力いただきます。	

<備考>

- ・取組中における指導内容(研究指導、安全性や生徒間トラブル等も含めて)については各校でご指導ください。もちろん、海外校との連絡がうまく進まない時や研究が停滞してしまった際には、ご協力をさせていただきますので、何なりとご相談ください。
- ・取組の経過や研究内容、生徒、先生方へ依頼した調査の結果等については、SSH事業の報告書や学术论文等に発表させていただくこともありますこと、ご了解ください。
- ・実験に必要な器具や材料にかかる費用は各校でご準備ください。
- ・ご質問等は、立命館高校SSH推進機構長 廣松光一郎 hiromatu@fkc.ritsume.ac.jp までお願いいたします。

以上